

## 福岡水素エネルギー人材育成センター

燃料電池は、効率が高く環境への負荷も少ない次世代のエネルギーシステムとして、実用化に向けた研究開発が世界中で精力的に進められていますが、燃料電池本体のみならずシステム構成機器、補機も含めた材料・システムの低コスト化、さらに耐久性や信頼性など、実用化を目指す上で解決すべき課題が多いのも事実です。このため産業界では、水素・燃料電池関連技術の実用化を図るために、当該分野において幅広い視野を持った技術者の育成が強く求められています。こうした産業界の要望を踏まえ、社会人技術者に対して水素・燃料電池関連の幅広い教育を実施することを目的に、福岡水素エネルギー戦略会議と九州大学水素エネルギー国際研究センターとが連携して、福岡水素エネルギー人材育成センター「経営者コース」及び「経営者(燃料電池自動車)コース」「技術者育成コース」の3コースを開講しています。

平成17年の開講以来、1,000名を超える社会人・学生が本コースを受講し、水素・燃料電池に関するスキルアップを図っています。

### 福岡水素エネルギー人材育成センター

○設立：平成17年10月

平成27年6月現在の開催実績

| 区分                                  | 開催回数 | 受講者数 |
|-------------------------------------|------|------|
| 経営者コース                              | 15回  | 487  |
| 経営者(燃料電池自動車)コース                     | 5回   | 148  |
| 技術者育成コース                            | 18回  | 275  |
| 高度人材育成コース<br>(※平成26年度より技術者育成コースへ統合) | 6回   | 169  |

### 多角的な人材育成プログラム

ニーズに合わせた様々な人材育成プログラムを実施しています。

|              |  |
|--------------|--|
| <b>社会人向け</b> | <b>●福岡水素エネルギー人材育成センター 経営者コース</b>   |
|              | 水素エネルギーに関心を持つ企業の経営者等を対象として、水素の性質や燃料電池などに関する基本的な知識のほか、水素・燃料電池に関する市場動向や新規参入企業に求められる技術・資質等を分かりやすく解説するコース                |
| <b>技術者</b>   | <b>●福岡水素エネルギー人材育成センター 経営者(燃料電池自動車)コース</b>  |
|              | 自動車関連産業を中心とする企業の経営者等を対象として、2014年の市場投入を契機として活発化している燃料電池自動車の開発動向を提供するとともに、市場動向について分かりやすく解説するコース                        |
| <b>学生向け</b>  | <b>●福岡水素エネルギー人材育成センター 技術者育成コース</b>   |
|              | 水素エネルギー関連企業や新規参入を目指す企業の技術者を対象として、九州大学の教授陣及び全国有数の水素エネルギー関連企業の技術者が講師を務める、幅広い内容の講義に実践的な実習を盛り込んだコース                      |
| <b>博士</b>    | <b>●水素エネルギーシステム専攻 博士課程</b>   |
|              | 水素エネルギー・低炭素エネルギー関連の最先端研究に従事するとともに、国際連携インターンシップ(海外留学)や産学連携インターンシップ、国際学会発表などを経験させ、幅広い視野を持って将来の社会のリーダーとして国際的に活躍できる人材を育成 |
| <b>修士</b>    | <b>●水素エネルギーシステム専攻 修士課程</b>   |
|              | 水素の製造・貯蔵・利用を含むエネルギー技術全体を体系的に学ぶとともに、熱力学・熱工学、材料力学・強度学などの機械系科目と、電気化学、機能材料学、安全学などの水素・低炭素エネルギーに欠かせない関連科目を習得               |
| <b>子市民向け</b> | <b>●公開講座、環境学習等</b>   |
|              | 一般市民の方々や地元小・中学生等に対して、九大の水素エネルギー利用技術や研究施設等を利用した燃料電池やエネルギー・環境問題に関して理解を深めてもらうための市民講座の実施や、地元自治体等が実施する環境学習などへの協力          |